

# けんころ

## 岐阜県総合医療センター

- 平成24年2月1日発行
- 平成24年 冬号
- 発行責任者 渡辺佐知郎
- 編集 総合医療センター広報委員会

# 院長ご挨拶

岐阜県総合医療センター

理事長兼院長

渡辺 佐知郎



平成19年より岐阜県総合医療センター院長を、平成22年より理事長兼務を拝命しております。渡辺佐知郎でございます。現在、病院の責任者として職員とともに最善、最良の医療を提供する為努力している次第です。

### 岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者様本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

### 岐阜県総合医療センターの基本方針

- 1) 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
- 2) 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
- 3) 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
- 4) 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
- 5) 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
- 6) 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

### 患者様の権利と責務

- 1) 平等に安全で良質な医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と助言のもとに自分自身の医療を決定する権利
- 3) セカンドオピニオンを受ける権利
- 4) 個人のプライバシーが守られる権利
- 5) 医療従事者と協力して医療に参加する責務

がん治療センターでは最新式のPET（PET/CT）やリニアックによる最も進んだガンの放射線診断や治療を行っております。内科的に科学療法やがん緩和医療も重点に置いております。当センターは厚生労働大臣が指定するがん拠点病院でもあります。

女性医療センターでは女性患者が女性医師を希望された場合安心して受診できる女性外来（女性産婦人科専門医担当）、女性の外科専門医による乳腺外科や産婦人科や

が、何卒よろしくお願いいたします。平成22年4月1日より地方独立行政法人岐阜県総合医療センターとなりましたのは皆様への医療サービスをより柔軟に迅速に、かつ安全、正確に行えるため岐阜県とともに踏み切った次第です。

当センターは7つのセンターを柱に総合的に県民の医療の要としての役割を持っており、また小児医療センターは一刻も速い治療が救命につながる24時間体制の救急医療を、母と子ども医療センターでは周産期、新生児、小児医療を総合的に一貫して行います。

がん治療センターでは最新式のPET（PET/CT）やリニアックによる最も進んだガンの放射線診断や治療を行っております。内科的に科学療法やがん緩和医療も重点に置いております。当センターは厚生労働大臣が指定するがん拠点病院でもあります。

女性医療センターでは女性患者が女性医師を希望された場合安心して受診できる女性外来（女性産婦人科専門医担当）、女性の外科専門医による乳腺外科や産婦人科や

が、何卒よろしくお願いいたします。平成22年4月1日より地方独立行政法人岐阜県総合医療センターとなりましたのは皆様への医療サービスをより柔軟に迅速に、かつ安全、正確に行えるため岐阜県とともに踏み切った次第です。

当センターは7つのセンターを柱に総合的に県民の医療の要としての役割を持っており、また小児医療センターは一刻も速い治療が救命につながる24時間体制の救急医療を、母と子ども医療センターでは周産期、新生児、小児医療を総合的に一貫して行います。

## 専門外来（もの忘れ外来、頭痛外来、脚外来）開始

当センターでは、患者さんが病状に合わせて適切な診療科にかけやすくなり、また、単に臓器別に分けるのではなく関連する複数の科が協力して診療にあたり最も適切な治療を提供するため、27の「専門外来」を開設しています。各科の境界領域や複数の科にまたがる疾患を持つ患者さんも多いので、そのような場合にも円滑に受診治療できることを目的としています。

平成23年度には新しく3つの専門外来が誕生しました。

### もの忘れ外来

「もの忘れ」を訴えられる患者さんは近年増加して社会的にも問題となっています。もの忘れには認知症だけでなく、水頭症、ビタミン不足、ホルモン異常などいろいろな原因疾患が隠れていることもあります。頭部MRI、脳血流シンチ、臨床心理士が行う詳細な認知機能検査、血液検査などを組み合わせ、診断し適切な治療に繋がります。認知症の場合、新しい治療薬も開発されており、早期から治療することで病気の進行を遅らせる効果があります。内科・総合診療科、循環器内科、精神科が連携し効果をあげています。

△診療日時▽ 毎週火曜日 午後  
△診療予約▽ かかりつけ医からの紹介で病診連携室で予約して頂きます。

### 頭痛外来

頭痛が続くと何か脳の病気ではないかと心配になる方も多くあります。頭痛は様々な原因が考えられます。急に起こった頭痛ではなく、慢性的に頭痛がある方を対象として通常3回の通院の中で、診察とMRI等の検査にて診断し治療に繋がります。脳神経外科、総合診療科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、歯科口腔外科などが連携して診療し効果をあげています。

△診療日時▽ 毎週木曜日 午後  
△診療予約▽ かかりつけ医からの紹介で病診連携室で予約して頂きます。

### 脚外来（あしがいらい）

脚（ももから足先まで）に関する症状（冷たい、痛い、傷が治らない）のある方が対象です。足の血圧測定、血管エコーやCT、MRI等の精密検査を組み合わせ、脚の血行不良による病気を早期に発見し治療します。窓口は循環器内科が担当しています。

△診療日時▽ 毎週金曜日 午後  
△診療予約▽ かかりつけ医からの紹介で、病診連携室より予約していただきます。



# 広域災害対策訓練を実施しました



当センターは、基幹災害医療センターとして都道府県で災害医療を提供するうえで中心的役割を担うこととなっております。災害時に機能を十分發揮できるようにするため、平成23年8月27日（土）に病院関係職員、県立衛生専門学校学生、県防災航空センター、羽島市医師会、羽島市民病院、岐阜赤十字病院、消防関係者等の参加と患者さんの協力により、広域の災害対策訓練を実施しました。

○訓練内容  
重篤患者が他の病院から搬送され患者受け入れ訓練

○参加人員 約190名  
内訳 病院関係者（医師、看護師、医療技術者、事務局職員等）  
県立衛生専門学校（模擬患者役等）  
消防関係者



(1)ヘリコプターによる患者受け入れ体制の体験、検証を行いました。  
(2)トリアージ訓練  
災害により発生した多数の傷病者や羽島市民病院及び岐阜赤十字病院から搬送された負傷者に対し、トリアージ訓練を実施しました。  
※トリアージ：多数の傷病者を、重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定すること  
(3)応急処置訓練  
応急救護所を設置し、トリアージ訓練により分類された負傷者に応急処置を行い、より多くの人命を救出する応急処置訓練を実施しました。  
(4)消防訓練  
地震発生により、院内火災が発生したとの想定のもとに、来院者の避難、自衛消防隊による初期消火及び関係機関への通報の訓練を実施しました。  
また、はしご車による病棟からの避難訓練を実施しました。

# 第10回県民健康セミナーを開催しました



平成23年11月12日（土）、当センター講堂で県民の皆様を対象とした「第10回県民健康セミナー」を開催しました。

当センターでは、県民の皆さんの関心が高い疾病を取り上げ、毎年1回11月ごろに「県民健康セミナー」と題して講演会を開催しております。当センターは、保健医療の情報発信という役割も担っており、このセミナーはその一環として実施されるものです。セミナーでは、テーマに対し様々な角度から光をあて、当センターの職員が、県民にとって有用な情報をお知らせしています。

今年度は、「生活習慣病と認知症」を取り上げ、生活習慣病と認知症に関する日常生活に役立つ健康知識などを当センターの医師、看護師等が講師となって講演いたしました。参加者は150名を数え、講演後の質疑応答でも参加者と講師との間で活発なやりとりが行われ、盛況のうちに終了いたしました。

テレビ視聴につきましては、長時間使用していただくよう1日400円の固定料金となっております。



TVカードが1枚2000円と高く、3日位で終わってしまう。せめて1日1000位で。



支払いの窓口を、2つから3つに増やしました。また、番号が表示されるまで座ってお待ちいただくよう案内しておりますが、表示を分かりやすくするなど検討いたします。



会計時、立って待つことは非常に苦痛。順番を番号で。

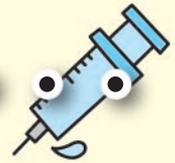


岐阜県総合医療センターでは、皆様方のご意見、ご提案を参考により良い病院運営に努めて参ります。

## 提案箱 意見箱



# インフルエンザワクチンについて



## 1. インフルエンザとは

インフルエンザとは、インフルエンザウイルスが原因で起こる感染症で、突然の発熱や全身の倦怠感などの症状が特徴です。伝染性が非常に強く、症状が激しく重症化しやすいなどから、普通のかぜとは区別すべき病気です。特に高齢者や乳幼児は重症化しやすいので注意が必要です。

## 2. インフルエンザウイルスの種類

インフルエンザウイルスは性状の違いから、A、B、C型の3つに大別されます。人に典型的な症状を引き起こすのはA型とB型のウイルスで、C型による症状は軽いといわれています。A型ウイルスは変異しやすく、渡り鳥などによって地球規模で運ばれており世界的に流行する場合があります。

## 3. インフルエンザワクチンについて

インフルエンザワクチンは、毎年その年の冬に流行すると思われる型を予測し、それに基づいてワクチン用のウイルスを鶏卵に接種して作られています。近年は予測の精度がどんどんあがってきており、型が少しずれても全く効果が出ないわけではありませんし、発症は防げなくても重症化は防ぐことができます。

## 4. ワクチン接種が推奨される患者様

特に高齢者や基礎疾患を有する等の下記の高リスク群に当てはまる患者様はワクチン接種が推奨されます。

- 1) 65歳以上の高齢者

- 2) 妊娠28週以降の妊婦
- 3) 慢性肺疾患（肺気腫、気管支喘息、肺線維症、肺結核など）
- 4) 心疾患（僧帽弁膜症・うっ血性心不全など）
- 5) 腎疾患（慢性腎不全・血液透析患者・腎移植患者など）
- 6) 代謝異常（糖尿病・アジソン病など）
- 7) 免疫不全状態の患者

ワクチンを接種することで発症や重症化をある程度防げますが、ワクチンの性質上100%予防できるわけではないため、普段から規則正しい生活や、帰宅時のうがい・手洗いを心がけ、感染予防に努めましょう。特に冬場は乾燥しがちになりますので、加湿器を使うなどして適度な湿度を保ちましょう。50~60%の湿度が目安です。マスクの着用もお忘れなく。

## 5. ワクチン接種のスケジュール

インフルエンザワクチンは接種してから実際に効果を現すまでに2週間ほどかかります。ワクチンには1回接種と2回接種があり、2回接種する場合は2回目を1回目より1~4週間（13歳未満では2~4週間）あけて接種します。13歳以上では1~2回、13歳未満では2回接種が望ましいです。

## 6. もしインフルエンザにかかってしまったら

小児・未成年者では異常行動（意識障害、幻覚など）が報告されています。（インフルエンザウイルス自体の作用が抗インフルエンザ薬の副作用かどちらの原因かまだわかってはいません。）もし、インフルエンザと診断されたら小児・未成年者の場合、最低2日間は目を離さないように注意することが大切です。

## 専門分野コース紹介

当センターでは、患者様が安心できるケアを提供するため専門コースで学んでいます。専門コース（6回/年）には、毎年80~100名が学んでいます。

当センターには現在、11名の認定看護師がいます。がん化学療法認定看護師(1)、がん性疼痛看護認定看護師(1)、感染管理認定看護師(2)、救急災害看護認定看護師(1)、摂食・嚥下障害看護認定看護師(1)、小児救急看護認定看護師(1)、皮膚排泄ケア認定看護師(3)、新生児看護認定看護師(1) 専門コースの講師は、認定看護師が担当しています。



コース名	主な内容
がん化学療法	がん化学療法の安全な投与管理方法 がん化学療法の副作用への看護・ケア 抗がん剤と分子標的薬
緩和ケア	がんの痛みのコントロール がんの口腔ケア、リンパ浮腫のケア 精神面へのかかわり
救急看護	救急の現状 災害訓練に参加 一次救命処置(BLS)、二次救命処置(ACLS)
小児救急看護	小児救急の現状 医療処置を受ける子どもへの関わり 乳児・小児の一次救命処置の習得
スキンケア	スキンケア ストーマケア 褥瘡(床ずれ)予防、ケア 失禁・排泄ケア(排尿・排便)
摂食・嚥下障害	食べるための口腔ケア 摂食・嚥下障害の検査・診断・評価 誤嚥性肺炎、栄養低下、脱水 訓練について



各専門コースでは、講義や実際に体験しながら学んでいます。講義では講師である認定看護師の話を熱心聞かれています。



12月の緩和ケアコースでは、リンパ浮腫のケア、アロマオイルを使った手のマッサージを学びました。手や足をほぐしながら気持ちもほぐれるように、日々の看護にマッサージを取り入れたいと思っています。

専門コースで学んだことは、日々の看護業務の中で患者さんのケアに活かしています。また、後輩指導・看護学生の指導にも役立て看護の質の向上を目指しています。

11月の摂食・嚥下障害看護コースでは、食べ物を使わない間接訓練について学びました。ベッドサイドでできる看護師ならではの訓練を日常生活援助技術の中で取り入れられるよう、実際に体験しています。



11月のスキンケアコースでは、ストーマケアについて学びました。ストーマ装具をお腹に貼る体験授業です。認定看護師の指導を受けながらモデルを使って実際にストーマ装具を貼っています。



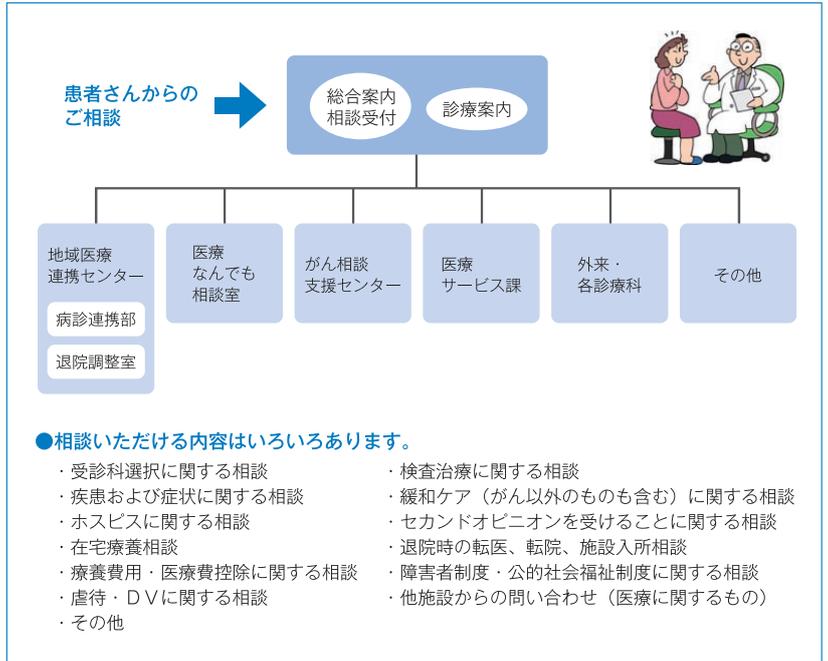
# 総合相談センター開設

当センターでは患者さん等が気軽に相談をし、安心して医療を受けることができるように総合相談センターを開設しています。いろいろな相談の窓口を一つにして受け付け、その内容によって適切な部署、専門の職員が担当して相談を受けます。総合案内・相談受付へいつでも気軽に声をおかけください。



病院正面玄関を入ってすぐ、私たちコンシェルジュが窓口です。

「総合案内・相談受付」 平日 8:00~17:15



濃い味付けに慣れたままの食生活を続けていると、知らないうち食塩の摂りすぎに。一度自分の味覚をチェックしてみましょう！

- ①調味料は段階的に使う量を減らして、舌を慣らす。
- ②1食の中で、薄い・濃い料理を分けてメリハリをつける。
- ③だしを濃い目にとる。
- ④香辛料や風味のある食材（カレー粉・かんきつ類・のり・しょうがなど）を加える。

「薄味でもおいしく食べるには」  
高血圧における食事の最大のポイントは、減塩です。日本高血圧学会が提唱する塩分摂取量の目標値は6g未満ですが、日本人の平均的な塩分摂取量はその約2倍。料理を作る上では、薄味でもおいしく食べられるコツを上手に活かしましょう。

「ごはんは栄養管理部です」

## あなたの味覚をチェック！

【里芋の煮物 1人分125 kcal】  
材料（2人分）

★通常の味付け  
（1人あたり塩分1.4g）  
里芋 300g  
だし汁 1.5カップ  
しょうゆ } 各大さじ1  
みりん }  
砂糖 }

★しっかり減塩を目指す方の味付け  
（1人あたり塩分0.4g）  
里芋 300g  
だし汁 1.5カップ  
しょうゆ } 各小さじ1  
みりん }  
砂糖 }

### 作り方

1. 里芋は皮をむき、大きいものは半分切る。沸騰させたお湯で約3分間ゆでて、水にとり、ぬめりを洗い流す。
2. 鍋にだし汁と1.の里芋を入れ中火で5分間煮る。
3. しょうゆ・みりん・砂糖を加えて、落としぶたをし、やわらかくなるまで約15分間煮る。

これらの煮物を食べてみて薄く感じられたら、塩分摂りすぎの可能性が。上記の減塩テクニックを応用してみましょう。



1日食塩6g未満を目指す方は、こちらの味付けで試してみましょう！



第25回

### 寄付

平成23年6月17日、岐阜県労働者共済生活協同組合様より県庁を通じて車椅子6台が寄贈されました。各病棟へ配置しております。末永くご利用下さい。

### 編集後記

当センターの広報紙はしばらくお休みしておりましたが、みなさまに当センターの取り組みを分かりやすく紹介するべく復刊いたしました。これからもよろしくおねがいたします。採り上げていただきたい話題がありましたら、病院までお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会  
〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号  
TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805  
Eメールアドレス info@gifu-hp.jp  
ホームページアドレス http://www.gifu-hp.jp